

# 環境だより



環境課 ☎66・1122

みんなは、スナメリって知っているかな？

スナメリは、世界で一番小さなイルカの仲間で、三河地方では「すざめ」とも呼ばれてるよ。むかしは、アジアからアフリカまでの海に、広くすんでいたんだ。伊勢湾・三河湾はスナメリが多くいるところだけど、生きていく環境が、どんどん悪くなっていてね、今ではとても数が少なくなっているよ。だから、スナメリは国際保護動物にも指定されているんだ。

- ①背びれがない
- ②頭部にイルカのような「くちばし」がない

## 三河湾にスナメリがいるよ

- ③体長は160～170cm（出生体長70～80cm）
  - ④体の色は、灰色から淡褐色
- 三河湾はとても汚れた海になってしまったけれど、今でもスナメリが見られるのはとてもうれしいね。でも、にごった海や、海の底にごみが多いのはいやだろうね。



今年5月、西浦の海水浴場の砂浜で、死んでいる生後1カ月ほどの赤ちゃんスナメリが見つかりました。子育て中のお母さんスナメリが、エサと間違えてビニールを食べ、死んでしまったことも…海にはたくさんさんの生き物がすんでいます。みんなの海をできるだけ汚さないようにしましょうね。

# 消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

消防士は、マラソンや筋肉トレーニングなどのハードな運動をするときを除いて、屋外では必ず帽子やヘルメットをかぶらなければなりません。

消防にはいろいろな服（制服、活動服、救助服、救急服、防火衣など）があり、この服装に応じて、帽子を使い分けます。どんなときに何をかぶるかだけではなく、帽子の色や模様、材質まで決まっているのです。

例えば、式典などの場所では、制帽と呼ばれる紺色の帽子、ロープを渡ったりする救助訓練のときは白いヘルメット、火災のときは熱を反射し、火の粉を防ぐ銀色のヘルメット

## かぶりもの



▲左から、防火衣、救急服、救助服、活動服、制服

ト（防火帽）、救急のときはグレーのアポロキヤップ、普段の屋外作業のときは紺色のアポロキヤップをかぶります。そして、厳格を重んずる消防士のかぶりものは、どんなものであっても向きがゆがんでいてはいけません。消防の格言に「こういうものがあります。帽子のゆがみは心のゆがみ」。消防士のかぶりものは、常に真っすぐな気持ちで災害に立ち向かう心の象徴なのです。